



青森県の人・物語を売るお店

5年間のTVロケで出会った青森県中の第一次産業者の「人と物語」をパッケージにして発信する。特別栽培・有機も多く扱っています。





アグリーンハートの「届ける農業・届ける食育」

【 だいたんぼプロジェクト 】

「私たちと一緒に有機農業しませんか？」

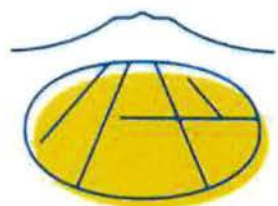


都会に暮らす人の「半農半X」や「週末農家」の気持ちの受け皿になる。
農作業代行。スマート技術を使ってアグリーンハートのファンを県外に構築。





アグリグリーンハートの「届ける農業・届ける食育」



代田 × 青森

だいたんぼ

- ◆ 入会費(5,000円)でクルー登録
- ◆ 農作業を動画配信
- ◆ クルーからの質問は常に受付
- ◆ 農作業体験ツアーに参加OK
- ◆ 収穫後、名前入ラベルで3升進呈
- ◆ その後も収穫分は会員価格で販売
- ◆ 「とれなかったらごめんなさい」
- ◆ 災害・緊急時も米は確保します





アグリーンハートの「届ける農業・届ける食育」

「青森の体験を届ける」

【いただきますの学校】～世田谷代田の小学校・保育園・幼稚園へ食育活動～

フリーペーパーを
1シーズン1回配布

＜いただきますの学校：動画編 YouTube＞





【だいたんぼプロジェクト】 ~届ける農業~

- ・アグリーンハートが作業代行の受け皿になることで、
世田谷区民が黒石のプレーヤーになりえる
- ・「災害等で獲れなかったらごめんなさい」としている。
収穫物より**プロセスを届ける事に価値**を置く
- ・米づくりだけでなく、田んぼの周辺にいる生き物なども
子供と一緒に楽しむと好評 = **食育こそ消費拡大の根源**
- ・スマート技術で田んぼと消費者の心を繋ぐことができれば
自分ごと化が強まる = ファン作り = 経営基盤の強化





農福連携でスポット的な担い手不足の解消



- アグリーンハートでは
有機農業と農福連携は常に一体
- 水稻除草(手)、稲刈り、にんにく堀
アスパラ除草、精米真空パック作業
- 機械化一貫体系できない、
(AIではなく)人の強みが活きる
農産物の生産に障がい者を雇用し
地域の強みにしていきたい。
- ノウフクJASの原料の引き合いが
強くなってきている。





休耕地で有機認証を取得し大豆の晩播狭畦密植栽培



晩播狭畦密植栽培

- 7月上旬播種。
大豆を密植させることで、葉が重なり土に陽が当たらず草が生えてこない。
- 2023年からのnon-GMにより国内の有機大豆がアツイ！
- 「とれたもの全て買います」契約
- 乾燥調整は委託
- 刈り取りはコンバインレンタル
- 収益性が高い
- 嫌気と好気で抑草効果も





慣行栽培からの有機転換を大豆作から入る



- 無農薬1年目のお米の販売先がない。
リスクの割に価格が合わない。
- 大豆は転換1年目でもお米より
収益性が良い。お米に比べて手間
がかからないので大規模化可能。
*当社比
- 大豆が草に負けても問題なく刈れる
- 根粒菌により窒素固定効果が高い？
*自然栽培で実験中





【アグリーンハートの宣言】

私たちはグリホサートやネオニコチノイド等、神経毒性農薬を使用しません。

私たちは環境汚染の原因となるマイクロプラスチック系化学肥料を削減します。

私たちは在来種・固定種を大切に繋いでいきます。

私たちは安心安全な未来を創る為の農業を実践します。





黒石市が目指す将来のビジョン

- ▶ みどりの食料システム戦略事業の活用により、
- ▶ ○当市の有機農業者が抱える課題の解決
- ▶ ○当市における有機農産物の高付加価値化、販路の確保
- ▶ ○有機農業者の所得向上
- ▶ に寄与する事業展開を実施。



- ▶ 『有機の郷くろいし』を目指します。